

平成 31 年度県立笠間高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	☒ A 妥当である ☐ B おおむね妥当である ☐ C あまり妥当でない ☐ D 妥当でない	・重点目標の達成状況についての自己評価は妥当である。問題行動の未然防止や新たな課題への迅速な対応等がしっかりできているので、落ち着いた学校として高く評価されている。 ・現状を把握され適切な評価をされています。 ・陶炎祭など様々な各種行事への参加における地域交流は市民からも期待されている。
2 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	☐ A 妥当である ☒ B おおむね妥当である ☐ C あまり妥当でない ☐ D 妥当でない	・概ね妥当であると考えます。しっかりとした具体的な目標及び具体的方策が立てられているのがすばらしい。 ・具体的な目標に対する評価は適切にされています。
3 学校は次年度への主な課題を把握しているか	☒ A 十分把握している ☐ B おおむね把握している ☐ C あまり把握していない ☐ D 把握していない	・各評価項目の評価結果を受けて、次年度への主な課題は十分に把握していると思う。 ・教員は好奇心をもって教育現場に立っているかを問うことも必要である。
4 学校の改善方策への対応は適切か	☒ A 適切である ☐ B おおむね適切である ☐ C あまり適切でない ☐ D 適切でない	・改善方策への対応は適切であると考えます。 ・笠間高校の生徒達の活動をもっとHP等で発信していただきたい。 ・学校設備の老朽化で危険性のある箇所の迅速な修繕等をお願いしたい。

別紙様式 3（高）

5 その他（各学校の状況に応じて設定） これからの笠間高校はどのような方向に進んでいくのが望ましいと思われますか，ご記入下さい。		・普通科、美術科、メディア芸術科が切磋琢磨し，さらに充実していくことを望みます。進学率がさらに向上していくことを期待します。魅力ある笠間高校になることを望みます。 ・笠間市のもっている知的財産をもっと活用し，高校生の活躍の場をひろげてほしい。
--	--	---